



## 中根 達朗

任期  
2018年4月～  
2021年3月



ろくろ細工の技術を応用して、照明器具も制作しました

協力隊での任期は南木曾町での生活のスタートラインに立つための過程だったと感じています。南木曾町での3年間は本当にあつという間でした。日々の生活においてはお隣の方と畑を耕したり、散歩途中に声をかけてもらいお茶をごちそうになったり、川の水の冷たさを感じたり、夜空の美しさに目を奪われたり、子熊や狸など獣に道端で遭遇したり、いわゆる自然と人情豊かな田舎暮らしを書ききれなくらい実感

することができ、神奈川県出身の私としてはかなりの衝撃を受けました。都会の夜景やネオンもきれいですが地元にはいた時よりも四季の変化、経過をより強く感じるができるようになり精神的にも豊かな生活を送っているように思います。

任務として南木曾ろくろ細工の研修で木と向き合う時間はとても刺激的で、同じ製品の製作においても一つとして同じ木はなく、一つ一つの木と初対面

で向き合い続ける感覚でした。3年間という短い期間ではありますが、その期間の中で毎日木との新しい出会いを重ねさせていただきました。木を通して自分自身や人を見るような、ある意味人との対話よりも、より濃密な対話をさせていただいたように感じています。また自分の技術の未熟さ、木に対する意図の浅はかさを木や親方の道具からも教わり続けた日々でもありました。木目の方向、刃物やペーパーを当てる角度、力加減、スピード：上手いかわないときには木や道具からも「そうじゃないよー」と訴えかけられていました。南木曾ろくろ細工の製品に至るまでに表現しきれないほどの要素の集約が込められていることを肌で感じる日々でした。この集約の集積が伝統工芸たる所以であり魅力とと思っています。



令和2年1月 東京のカフェ画にあるギャラリーでの展示会

皆様と手を取りあい、教えていただいた貴重な技術を磨くための環境整備を継続しながら南木曾ろくろ細工に関わり続け、南木曾町の一員として新たなスタートを切りたいと考えています。

